文化・歴史学科

トピックス

年度	西暦	トピックス	コース
平成元年度	1989	◇学科名称「文化学科」として発足	コースなし
平成2年度	1990		コースなし
平成3年度	1991	◇谷川健一教授が、第42回芸術選奨において文部大臣賞を受賞・対象作品『南島文学発生論』	コースなし
平成4年度	1992	◇谷川健一教授が南方熊楠賞を受賞	コースなし
平成5年度	1993	◇学部長補佐制度の導入、村上公敏教授が就任 ◇『淀川文化考（2）』（文化学科編）刊行	コースなし
平成6年度	1994	◇野本寛一教授が学部長補佐に就任 ◇谷川健一教授が民俗学研究所に移籍。所長に就任 ◇文化学科公開講座・『恋愛と生―文化論的地平から』	コースなし
平成7年度	1995	◇中川久定教授が学士院会員に推挙される	コースなし
平成8年度	1996	◇文化学科講演会1―鷲田清一氏 ◇文化学科講演会2―北畠清泰氏	コースなし
平成9年度	1997	◇文化学科講演会3―曺街京氏 ◇文化学科講演会4―沖守弘氏	コースなし
平成10年度	1998	◇文化学科講演会5―高柄翊氏	コースなし
平成11年度	1999	◇野本寛一教授が学部長代行に就任 ◇文化学科講演会―趙建民氏	コースなし
平成12年度	2000	◇「歴史文化コース」、「比較文化コース」、「現代文化コース」の3コース制を導入 ◇文化学科公開講演会―金関恕氏 ◇文化学科公開講演会―森岡正博氏	3コース制
平成13年度	2001	◇教養部改組に伴い、十二名の教員が文化学科に移籍 ◇文化学科公開講演会―吉田暢子氏 ◇（文化学科・民俗学研究所）公開文化講演会―赤坂憲雄氏	3コース制
平成14年度	2002	◇文化学科前期講演会―尹貞玉氏 ◇文化学科後期講演会―小田淑子氏	3コース制
平成15年度	2003	◇文化学科前期講演会―棚橋利光氏 ◇文化学科後期講演会―金満里氏	3コース制
平成16年度	2004	◇「日本歴史・文化コース」「世界歴史・文化コース」「現代文化コース」「心理・社会コース」の4コース制を導入 ◇荒巻裕教授が学部長に就任	4コース制
平成17年度	2005	◇文化学科前期講演会―丸山徳次氏 ◇荒巻裕学部長が副学長に就任	4コース制
平成18年度	2006		4コース制
平成19年度	2007	◇文化学科講演会―向井一雄氏	4コース制
平成20年度	2008		4コース制
平成21年度	2009	◇文化学科講演会―山納洋氏	4コース制
平成22年度	2010	◇「総合社会学部」の新設に伴い、「心理・社会コース」は「総合社会学部」に移管。再び「日本歴史・文化コース」「世界歴史・文化コース」「現代文化コース」の3コース制に戻る	3コース制
平成23年度	2011		3コース制
平成24年度	2012	◇学科名を「文化・歴史学科」に改称 ◇コース制を廃止し、4つの系―日本史系、世界史系、現代文化・倫理系、文化資源学系―を配置して、一括入試を行う制度に変更	コースなし
平成25年度	2013	◇文化・歴史学科講演会―鈴木地平氏	コースなし
平成26年度	2014	◇文化・歴史学科講演会―上田富雄氏	コースなし
平成27年度	2015	◇野本寛一名誉教授が文化功労者として顕彰される 記念講演会・「環境民俗学への誘い」	コースなし
平成28年度	2016	◇髙宮いづみ教授が学部長に就任	コースなし
平成29年度	2017	◇野本寛一名誉教授が「瑞宝重光章」を叙勲される ◇髙宮いづみ学部長が副学長に就任	コースなし
平成30年度	2018		コースなし

教員往来・写真資料その他

1989–1999（コースなし）

- 馬場博治 ― マスコミ論。元朝日新聞大阪本社論説副主幹（1997年度退職）
- 川中子 真 ― 国際マスコミ論。日米文明交渉史（1998年度退職）
- 芳地昌三 ― ジャーナリスト。マスコミ論（8月逝去）
- 松尾博文 ― メディア制度論、情報公開制度の研究（1998年度退職）
- 村上公敏 ― 政治学、東南アジア
- 谷川健一 ― 民俗学（1994年近畿大学民俗学研究所に移籍）
- 鳴岩宗三 ― 日欧文化比較論、日仏文化交流史（1999年度退職）
- 野本寛一 ― 環境民俗学
- 吉原和男 ― 文化人類学（1995年度退職）
- 清島秀樹 ― コンピュータ科学、言語学、数理論理学、インド古典思想などに基づく独自の哲学世界の展開
- 大輪盛登 ― エディター。出版、編集（1990年逝去）
- 大越愛子 ― 女性学、ジェンダー論
- 西尾秀生 ― 仏教・ヒンドゥー教を軸とした比較宗教
- 胡桃沢勘司 ― 日本交通史の民俗学的研究
- 髙橋龍三郎 ― 考古学（1994年度退職）
- 堀田美保 ― 社会心理学
- 中川久定 ― フランス文学。学士院会員（1996年度退職）
- 山下正男 ― 文化基礎論（1997年度退職）
- 大脇 潔 ― 考古学。古代の瓦の研究
- 李 元植 ― 朝鮮通信使研究（1999年度退職）
- 加藤千幸 ― 国際外交論（1999年度退職）
- 白水士郎 ― 環境倫理学
- 前田益尚 ― メディア論

2000–2003（3コース制）

歴史文化コース：野本寛一（環境民俗学）、大脇 潔、胡桃沢勘司、鈴木拓也、綱澤満昭、赤阪 晋、近藤正己

比較文化コース：村上公敏（2000年度退職）、清島秀樹、西尾秀生、有水 博（ポルトガル史）、堀田美保、荒木康彦、荒巻 裕（マスコミ論）、黒川喜正（分析哲学）、髙宮いづみ

現代文化コース：大越愛子、白水士郎、前田益尚、山下雅之、堀田 泉（社会学）、中谷勝哉（行動発達学）、清 眞人、岸本陽一（行動心理学）、新井昭廣（論理学、哲学。2001年度退職）

2004–2009（4コース制）

日本歴史・文化コース：野本寛一（2006年度退職）、大脇 潔（考古学。古代の瓦の研究）、胡桃沢勘司、鈴木拓也、綱澤満昭（日本思想史、日本精神史。2009年度退職）、赤阪 晋（人文地理学）、近藤正己（日本近現代史。台湾植民地研究）、藤井弘章

世界歴史・文化コース：上田貴子、西尾秀生、有水 博（2004年度退職）、荒木康彦（西洋史。日独交流史）、荒巻 裕（2008年度「英語多文化コミュニケーション学科」へ）、黒川喜正（2008年度退職）、髙宮いづみ

現代文化コース：大越愛子、白水士郎、前田益尚、山下雅之（社会学）、清 眞人（哲学。実存主義の研究）

心理・社会コース：清島秀樹、堀田美保、中谷勝哉、岸本陽一、堀田 泉 ― 2010年度、「総合社会学部」へ移籍

2010–2011（3コース制）

日本歴史・文化コース：大脇 潔、胡桃沢勘司、鈴木拓也、赤阪 晋（11年度退職）、近藤正己、藤井弘章

世界歴史・文化コース：上田貴子、西尾秀生、荒木康彦、髙宮いづみ

現代文化コース：大越愛子、白水士郎、前田益尚、山下雅之、清 眞人

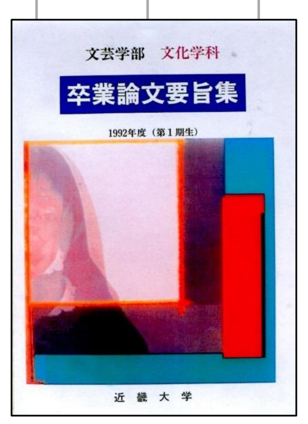
2012–2018（コースなし）

（日本史系）：大脇 潔（2012年度退職）、胡桃沢勘司（2017年度退職）、鈴木拓也（日本古代史）、人見佐知子（日本近現代史・女性史・ジェンダー史）、新谷和之（日本中世・近世）、近藤正己（2015年度退職）

（世界史系）：図師宣忠（ヨーロッパ中世史。都市文化）、上田貴子（中国移民史、都市社会史）、西尾秀生（2012年度退職）、荒木康彦（2012年度退職）、辻河典子（中央・東ヨーロッパ近現代史）、髙宮いづみ（エジプト学。古代エジプトの文化と社会の研究）

（現代文化・倫理系）：大越愛子（2012年度退職）、清 眞人（2014年度退職）、山下雅之（社会学。フランスのマンガの研究）、白水士郎（環境倫理学。食の倫理、生と死の倫理）、前田益尚（メディア論）

（文化資源学系）：村田陽平（地域研究、ジェンダー論）、藤井弘章（民俗学。ウミガメ・カワウの民俗学）、網 伸也（日本考古学）



文化学科「卒業論文要旨集」創刊

文化学科講演会ポスター 1997年

◆二人の民俗学者

「文化学科」には日本民俗学の分野で大きな功績を果たした二人の教授が在籍した。

〇谷川健一教授(1921-2013)

谷川民俗学は、学会やアカデミズムから距離をおいたところで展開された在野精神に貫かれた民俗学であった。日本の神々の起源、地名、南島の民俗等、研究領域は極めて広範であったが、その出発点は常に名もなき人々の営みであったといえる。近畿大学民俗学研究所の初代所長。2007年に文化功労者として顕彰される。

〇野本寛一教授(1937-)

野本寛一教授は、人と自然との多様なかかわりに注目し、「環境民俗学」という民俗学の新たな分野・手法を切り開いた。民俗連鎖や生業複合についても主張し、古老の言葉や知恵を未来へと語り継ぐことも重んじてきた。聞き取り調査を重視し、退職後の現在も日本全国を歩いている。本学民俗学研究所の第2代所長。2015年、文化功労者として顕彰される。2017年、瑞宝重光賞を受賞。